



市立病院から新年のご挨拶

『市民に信頼され愛される病院を目指して』

新年あけましておめでとうございます。早いもので、滝川市立病院が改築され、新しい病院が開院してから10年目を迎えました。滝川市民、および近隣市町民の皆様のご協力、ご支援のおかげで今日も診療を行うことができております。心より感謝を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、ここ中空知地域は少子高齢化が急速に進み、地域の医療・介護・福祉の綿密な連携がますます重要となっております。また、特に冬期間は札幌や旭川などの病院まで通院することは難しく、可能な限り医療を中空知地域で完結させるようにしていくことはとても大切な課題であると考えます。この地域の急性期医療を担う公立病院としての当院の責務はますます重くなっていくものと考えております。

市民の皆様には、当院の経営状況、医師不足や看護師不足などの問題について、何かとご心配をおかけしていることと思います。当院のような公立病院は、赤字部門であっても地域にとって必要であればそれを維持する責任があります。そのため、通常、公立病院は国が示す基準に従い自治体からの補助が入りますが、市の財政状況も厳しく、当院はこれまで基準よりも少ない補助で運営を行ってまいりました。地域人口の減少や、医師、看護師不足も相まって、さらに厳しい経営状況が続いていますが、外部からの意見も取り入れながら、今後も市と一体となり、病院経営の健全化に努めてまいりたいと思います。また、医療スタッフが働きやすい職場環境の整備や診療体制の維持、さらにはより良い病院への成長を目指したいと思っておりますので、市民の皆様にはさらなるご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

市立病院を受診される患者様の中には、体調が悪くても我慢をして、午後遅くや夕方になってから受診される方がいらっしゃいますが、体調が悪いときは、可能な限り日中早めに病院を受診することが大切です。遅い時間の受診は、治療の遅れから重症化するケースもあり患者様の負担が大きくなるのが考えられます。また、患者様の症状により入院することとなった場合は、医療スタッフの人数が午前中よりも減少するため、スタッフ1人当たりにかかる負担も増え、こうした現象が医師不足や看護師不足につながる可能性もあります。もちろん突然体調を崩されたときなどはいつでも受診していただけますが、可能な範囲で早めの時間の受診にご協力をお願いいたします。

市立病院をもっと知ってほしい、より近くに感じてほしいという想いで開催いたしました「ふれあいフェスタ」は昨年で4回目となりました。おかげさまで多くの方にご来場いただき、楽しみながら医療の現場を知っていただけているものと思います。これからも、地域の基幹病院として、市民の皆様には信頼され愛される病院を目指し職員一同頑張っていきたいと思っております。

最後に、皆様にとって幸多い年になりますようお祈りし、年頭の挨拶とさせていただきます。これからも当院に対し、皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。

〈ふれあいフェスタの様子〉



滝川市立病院スタッフ一同



手術体験!!
キッズセミナー



滝川市立病院スタッフ

滝川市立病院

滝川市立病院

健康と病気の
豆知識



知ってほしいお酒のこと、お酒と薬の関係のこと

薬剤課 成田 夏希



この時期は忘年会や新年会など、お酒を飲む機会が増えますね。

お酒はコミュニケーションを円滑にしたり、ストレス解消の手助けをしてくれます。また、適量であれば健康面にも良い影響を与える場合があることもいろいろな研究で分かってきました。一方で、お酒を飲み過ぎれば体に悪いことはご存じのことと思います。では、お酒が薬に与える影響についてはご存じでしょうか。

お酒には中枢神経の働きを抑える作用があります。薬にも同じ作用を持つものがあり、睡眠薬や抗不安薬がそれにあたります。睡眠薬や抗不安薬を服用している方がお酒を飲むことで、薬の副作用であるふらつきが現れやすくなったり、翌朝に眠気が残ったり、予期しないときに眠気が強く現れたりすることがあります。また、くしゃみや鼻水、湿疹などのアレルギー症状を鎮める抗アレルギー薬にも眠気の副作用があるので、睡眠薬など同様の注意が必要です。抗アレルギー薬は一部の風邪薬にも含まれているので、風邪薬を飲まれる方は薬剤師に確認してみるとよいでしょう。

さらに、お酒は血糖値にも影響を与えます。お酒を飲む際に食事のバランスが乱れると血糖値が上がりやすくなったり、血糖値を下げる薬を使っている方がお酒を飲むと低血糖のリスクが高くなったりします。糖尿病の方も、血糖コントロールが良好で自己管理もしっかりできていれば一定量の飲酒が許可されることがあるので、必ず主治医に相談してからお酒を飲むようにしましょう。

そのほか、お酒は一部の薬の分解にも影響を与えることが知られています。例えば、血液をさらさらにする作用のあるワルファリンという薬は、長くお酒を飲んでいる方の場合、効果が弱くなってしまいう可能性もあります。また、お酒の飲み過ぎで肝臓の働きが悪くなった場合、肝臓で処理される薬の効果が強く現れる可能性もあります。

今回紹介した以外にも、お酒が薬に影響を与えることがあります。服用している薬とお酒の飲み合わせについて気になることがありましたら、薬剤師にご相談ください。

適量であれば、「百薬の長」にもなりうるお酒。飲むときは適量を心がけ、特に薬を飲んでいる方は薬に与える影響もふまえて、安全に楽しくお酒とつきあいましょう。

1月の救急医療機関

	外科休日当番医 (8:30～翌8:30)	歯科休日当番医 (9:00～12:00)	電話番号	住所
1日(水)	市立病院	塚本歯科医院	0125-23-2508	滝川市栄町4丁目4-22
2日(木)	滝川脳神経外科	アヒコ歯科医院	0125-24-8711	滝川市一の坂町東3丁目3-9
3日(金)	市立病院	あさひ歯科クリニック	0125-22-0033	滝川市朝日町西1丁目6-1
5日(日)	滝川脳神経外科	多比良歯科医院	0125-54-3510	砂川市東7条南5丁目19
12日(日)	滝川脳神経外科	いち花歯科クリニック	0124-22-2207	芦別市本町28-18
13日(月)	市立病院	渋谷歯科医院	0125-22-1737	滝川市二の坂町東2丁目1-1
19日(日)	市立病院	たなか歯科医院	0164-23-5545	深川市開西町2丁目1-25
26日(日)	滝川脳神経外科	アヒコ歯科医院	0125-24-8711	滝川市一の坂町東3丁目3-9

※1日～3日の歯科休日当番医は9:00～13:00。

※市立病院…Tel 22-4311/大町2丁目2-34 滝川脳神経外科…Tel 22-0250/西町1丁目2-5
休日の内科・小児科の診療は市立病院で受け付けます(8:30～翌8:30)。

平日の時間外診療の協力医療機関については当番病院案内ダイヤル(Tel 22-2299)でお知らせします。